

第2回 シグマ専門委員会議事録

38.3.2(13:30~17:00)

於 原 研 第 一 会 議 室

出席者

(委員) 園田, 中島, 吉田, 安, 立花, 寺沢, 森田, 飯島, 百田, 西村(代塚田), 杉江, 浅見, 桂木, 高橋, 野本, 野沢, 大野の各委員

(関係者) 長柄(局), 西田(原研企画), 仲本(原研図書), 学会事務局の諸氏

(討論参加者) 新井, 五十嵐(日立), 松延(日電)の諸氏

欠席者 小川, 国富の各委員

1. 前回議事録確認

とくに本委員会より大野幹事が学会企画委員になる件, および2月20日の臨時幹事会において, IAEAにおけるINNDSWGのメンバーに百田主査を推薦した件につき, 幹事会記録に示した結論について全委員の賛同がえられた。

2. 経過報告

各委員の分担希望のテーマの申込みは全部出そろい, かつ学会誌による一般よりの公募の結果は, 学会事務局を通じたもの4件, 委員を通じたもの1件計5件であった。

3. 議 事

(1) 38年度委託費申請の大纲

各委員の希望研究テーマおよび一般よりの応募の研究内容などを総合討論の結果, 次のような結論に達した。38年度委託費申請の中心テーマは

① 高速中性子領域において, 光模型を用いての中性子断面積の理論的解析および計算

② 熱中性子領域における各種減速材断面積の理論的解析と計算

とし, 共鳴領域中性子断面積の問題については, 具体的内容についてさらに検討を進める。

一般よりの応募5件の内4件は上記①に含まれるので、次の4氏は研究参加者として認める。

松延広幸氏（日電）、~~久~~谷雅典氏（三井造船）、大田正男氏（京大）、山室信弘氏（東工大）、また、残り1件については本委員会の目的と異なるので省くこととする。

委託費申請の作業を急速に進めるため、次の3つのワーキング・グループを編成し、研究計画の具体化、必要な経費の算出などの作業を行なう。

- ① 高速中性子グループ（安幹事担当）
- ② 熱中性子グループ（高橋幹事担当）
- ③ 共鳴中性子グループ（立花幹事担当）

(2) 今後の日程

研究委託費の申請締切り日は、3月30日であるので、申請書作成のためのスケジュールを次のように決めた。

3月20日（水）までに各ワーキング・グループで原案作成、それを拡大幹事会で取りまとめ

3月25日（月）の学会理事会で承認をえたのち

3月30日（土）までに局に提出する。

その後は

4月6日 局に計画の説明および打合せ

4月中旬～下旬 内定 の予定である。

次回第3回委員会はその後、実行計画の段階で開くことにする。対局接渉の過程で申請書の内容を一部変更する必要が生ずることも考えられるが、この点に関しては幹事に一任することになった。

(3) 委員の追加

一般よりの研究参加希望者のうちから地域別機関別の問題も考えて、大田正男氏（京大、原子核工学科）を委員に追加委嘱することにし、学会企画委員会を経て理事会の承認をえる。

(4) データ収集活動の立案

本件については、大野幹事が担当して、ワーキング・グループを作り

調査立案を行なった上で、実施方につき次回委員会にはかる。

(5) 外部組織との連繫

原子力学会については38年度年会のときに、会員に活動の紹介を行なうようなことを考える。また、原子核実験、理論などの研究グループに対して、本委員会の活動の目的をよく説明し、協力をえられるようにする。

(6) 次 回

日 時	5月8日(水) 10:00~
場 所	丸の内工業クラブ
議 題	実行計画の検討、他

以 上